

皆さんは、街で外国人に話しかけられた時など、ことばが分からず頭が真っ白になった経験はありませんか。ことばが通じないと思う相手とのコミュニケーションは誰もが不安になるものです。結婚して間もない27歳の頃、北アフリカのアルジェリア・オランに単身赴任しました。ある日、日本にいる妻から、長女誕生の知らせが現地事務所の電信室に届きました。とはいえ、すぐに帰国もできず、いつものようにオフィスで執務をしていると、アルジェリア人の作業員や清掃員の人たちが、大勢訪ねて来ました。

驚いてドアを開けると「ベベ、ベベ」と言いながら、私の手を両手で握ったり、肩を抱きしめたり、赤ん坊を抱くポーズをとるなど、子どもが生まれて父親となった私を、思い思いの形で祝福してくれました。人生で子どもの誕生が最も喜ばしいイベントの一つであることは世界共通であり、自分ごとのように喜んでくれたのだと思います。日本語も英語もフランス語も話さない現地の人々でしたが、握られた手や引き寄せられた肩の感触が、国や人種、文化を超えて気持ちとして伝わり、感動したことを今でも覚えています。



また先日は、耳の聴こえるお母さんと聴こえないお母さんが、手話を楽しみながら交流する子育て手話サークル「ピングー」の皆さんと、手話通訳者を交えて対話する機会がありました。普段から、自分の思いを丁寧に伝え、相手を知りたいという思いを大切に活動されており、コロナ禍においては、相手のマスクの下の表情を想像し、自分もマスクから表情をあふれ出させる気持ちでコミュニケーションを取っていたそうです。

安心安全メモ

問い合わせ 危機対策課（市庁舎5階、☎65・4131）

交通安全の合い言葉「こいぬのあしあと」

5月は子どもたちが学校などの生活に少しずつ慣れて、行動が活発になる時期です。交通事故防止のため、親子で「こいぬのあしあと」を確認しましょう。

- こ
こうつうあんぜん
かてい
交通安全は 家庭から
- い
いつもの道でも
と
止まる・見る・待つ
- ぬ
濡れた道では
スリッパ
ちゅうい
注意
- の
乗るときは
ブレーキ・ライト
だいじょうぶ
大丈夫
- あ
あおしんごう
青信号でも
みぎ
ひだり
右・左
- し
シートベルトは
カチッと鳴るまで
- あ
あか
明るい服と
はんしゃざい
反射材
- と
「止まれ」の場所
ばしよ
一旦止まって
いったん
と
みぎ
ひだり
右・左

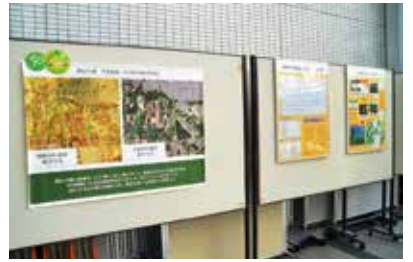


「こいぬのあしあと」覚えてね！

オビヒロカメラレポ OBIHIRO CAMERA REPORT

3月中旬から下旬にかけて百年記念館と市庁舎で開催された「帯広の森・展示キャラバン」。帯広の森の歴史や森づくりなどをパネルで紹介したほか、開催に合わせ「帯広の森高校生フォトコンテスト」の写真も展示されました。

帯広の森は昭和50年から百年の大計で、多くの市民の皆さんの参加により森づくりが進められ、50年を迎えます。今年50周年を記念した事業を数々予定しており、5月のイベントは5頁に掲載しています。暖かい日も増えてきましたので、帯広の森を散策してみたいはいかがでしょうか。（3月22日～29日、市庁舎）



高校生相互派遣事業に参加し、3月下旬に7泊8日の中国・朝陽市派遣を終えた帯広農業高校3年の熊澤柚衣乃さん、帯広柏葉高校3年の長谷川絢子さんによる、帰国報告会を実施しました。

派遣先ではホームステイを行い、同年代の学生との交流や文化体験などを通じて、異文化に対する理解を深めてきたとのことでした。

派遣について、「行く前は不安な気持ちもあったが、現地で出会った人々は優しく親切だった。派遣先での体験が刺激になり、視野が広がったので、これから色々なことに挑戦していきたい。」と話されていました。（4月4日、市庁舎）

